

COMPAS ノート

「授業中の問題行動への対応－ COMPAS ノートの説明用－」に従い、担当されている事例について、項目ごとに「問題行動の分析・授業の様子」「対応の実際」「評価」を記入してください。

なお、「問題行動の分析」「授業の様子」は、事例の問題行動について、考えられることを書き込んでください。

I 問題行動の分析・対応

1. 対象生徒氏名 高校2年 ○組 A(男)		
2. 問題行動の分析		
主たる問題行動： 数学の時間の教師への暴言		
問題行動が起こる条件 (教科、状況、指示など)	問題行動と機能 (問題行動の内容と意味)	今までの対応 (問題行動への対応と成果)
① 数学の時間。プリントを配って「やりなさい」と行ったとき。数学が苦手、嫌い(?)	② やりたくない、わからない何をしていいかわからない	③ 注意する(効果なし) 課題をしないので学力低下
問題行動が起きない工夫 (上記の条件への対応)	問題行動にかわる別の行動 (社会的に妥当な行動)	妥当な行動への対応 (ほめる、認める方法)
④ 教師がそばにつく 課題プリントの準備 言い方の工夫	⑤ 課題をする (悪くない状態) 教師に聞く	⑥ できたことを評価する 質問には丁寧に対応する
3. 授業の様子・学級の雰囲気		
A 以外に問題を起こす生徒はいない。A の態度に冷めた態度が見られる。		
改善のための対応 当たり前のことだが、ちゃんと学習している生徒を評価する		
4. 障害特性への配慮		
障害特性は特に感じない。(配慮は特にはない)		

II 包括的な対応

項 目	対応の実際	評価（指導結果、生徒の変化）
<p>1. 自己肯定感を高める</p> <p>①本人の悩みへの対応 ②できることを伸ばす ③賞賛</p>	<p>①悩みの内容は？ 数学がわからない 周囲から馬鹿にさている感 じ</p> <p>②伸ばしたい能力・活動と指導方法？ 部活動(軟式野球部)</p> <p>③ほめる行動は何か？ 指示を聞く、反抗しないこと</p>	<p>①悩みに対応できたか 課題プリント配布後に個別に教える</p> <p>②指導結果は？ 顧問と連携し、取り組みを評価したところレギュラーめざしてがんばる</p> <p>③ほめることができたか あえてほめなかったが丁寧に教えた。本人は素直に聞いた</p>
<p>2. 支援チーム</p>	<p>支援チームの設置の有無とメンバー？ コーディネーター、担任、学年主任、部活顧問</p>	<p>支援会議開催の回数と内容は？ 月2回程度。変化を共有した</p>
<p>3. 対応マニュアルの作成</p>	<p>対応マニュアル（個別の指導計画）を作成したか？ COMPAS ノート作成(このノート)</p>	<p>マニュアルの活用と成果は？ 事前の対応、事後の対応をそれぞれ意識して実施できた</p>
<p>4. 授業のルール決定</p> <p>①話し合いによるルール決定 ②自己評価 ③学習スケジュール表の導入</p>	<p>①話し合いの状況ときめられたルールは？ わからないときには教師に聞く</p> <p>②ルールを守っているかどうかの確認方法は?? 指示したあとの行動観察</p> <p>③作成した教科と表の内容？ 必要がないための作成しない(なくても問題ない)</p>	<p>①どのようにルールを提示したか。そのルールは守れたか？ 授業の前にそっと確認し、おおむね守れた</p> <p>②実施できたか？ 実施した</p> <p>③実施結果と効果（自己評価、保護者による点検など）？</p>

<p>5. 自己解決法</p> <p>①問題の自己認識 ②自己解決・学習支援 ③違反行為への説明と対応</p>	<p>①問題をどのように認識していたか？ 最初は話しに感じなかったが、結果を冷静に伝えると、自分にとって不都合であることを認める ②どのような目標をきめたか。必要とされる支援、学習への支援は何か？</p> <p>4-①に同じ</p> <p>③違反行為への対応の内容は（タイムアウトの内容、担当者など）？ 指示を繰り返す。「わからないことを説明して」という。授業後に相談室で気持ちを尋ねる</p>	<p>①自己認識の変化は？ 暴言に対する認識が変わった(少なくなる)</p> <p>②目標の達成状況？学習支援の成果は？</p> <p>③実施結果と効果（タイムアウト、保護者による指導など）は？ 最初は無言だったが、次第にわからないことを話すようになった。</p>
<p>6. 保護者による対応</p> <p>①学校の対応の説明 ②保護者による対応</p>	<p>①説明内容は？ 学習の遅れ、授業中の態度、今後の進路への影響を具体的に伝えた。</p> <p>②保護者が同意した対応は？ 家庭で本人の話を聞くこと。指示的なことはいわない。</p>	<p>①説明に対する保護者の認識と変化は？ 謝罪し親としての対応を約束した。</p> <p>②対応の実施結果は？ 母親に対して、少しずつ学校の話をするようになった。</p>
<p>7. 客観的評価</p> <p>①問題行動 ②評価 1) 授業態度の評価 2) 教師・親の評価 3) 本人評価</p>	<p>①問題行動 I-2-②と⑤ ②評価度（該当項目） 1) 授業態度 1-2、4-1、5 2) 教師・親の対応 1-1、1-3、2,3、4-1、4-3 6-1、6-2 3) 本人評価 4-2</p>	<p>①問題行動の変容を記述 いきなりの暴言は少なくなり、教師に聞くようになる。</p> <p>②結果を総括し記述 教師が連携し、共通理解の元に冷静に対応したことが効果的であった。</p>